

患者の皆さまへ

2021年6月2日

同和会 千葉病院

千葉大学社会精神保健教育研究センター

現在、同和会千葉病院では、千葉大学社会精神保健教育研究センターと共同で、「薬物療法切り替えにおけるブレクスピプラゾールの有害事象とその後の予後の関係」研究と実施しています。統合失調症患者様の治療においてブレクスピプラゾール（商品名レキサルティ）を安全で有用な治療薬として用いるために役立てることを目的としています。以下に該当する患者様については、診療情報を利用して頂くことがあります。詳しくお知りになりたい方、また利用をご希望されない方につきましては、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「薬物療法切り替えにおけるブレクスピプラゾールの有害事象とその後の予後の関係」

2. 研究の意義・目的

統合失調症患者様の治療においてブレクスピプラゾール及びアリピプラゾール（商品名エビリファイ）への切り替えの安全性や有効性を調査し、より安全な切替方法に関する知見を得ることを目的としています。

3. 研究の方法

2019年10月から2022年3月31日の間において、当院でブレクスピプラゾールによる治療を受けた患者様の同薬の切り替え前後の治療状況に関わる情報を診療録から抽出致します。当時の担当医に状況をお聞きすることもあります。またブレクスピプラゾールに加えアリピプラゾールでも治療を受けたことのある患者様については、それに関する診療情報を抽出することもあります。本研究で診療録の情報は、性別と年齢、疾患経過（発病年齢や大まかな経過）、治療に関わる情報（これまでのお薬の治療内容及びその治療によって病状の安定度等）を抽出致します。

また本研究は2021年5月から千葉大学医学部附属病院精神神経科（千葉市）・学会会木村病院（千葉市）・直樹会磯ヶ谷病院（市原市）・白百合会市原鶴岡病院（市原市）・同仁会木更津病院（木更津市）でも実施されています。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に漏れることの無いように厳重に管理します。研究成果の発表にあたって、患者様の氏名などは一切公表しません。研究に関わる記録等は千葉大学大学院医学研究院精神医学教室の鍵のかかる棚で保管されます。

5. 研究に診療情報を利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合は、原則して結果の公開前であれば、調査の対象に含めないこととしておりますので、下記の窓口にお申し出ください。

本研究は文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に遵守して実施されています。

研究実施機関（本部）：千葉大学社会精神保健教育研究センター

本件のお問合せ先：精神神経科 医師 金原信久 043-222-7171

研究実施機関（当院）：同和会 千葉病院

本件のお問合せ先：精神神経科 医師 佐々木剛 047-466-2176